

発行人：鈴木靖宏 佐野市越名町313 TEL 87-4115 FAX 24-9951

てんとう虫通信

令和7年
新年号

市民の皆さんに
いま議会での取組を
ご理解いただくために

昭和100年の
節目を考える

令和の 改新

今年が元号昭和で数えますと、100年となります。佐野市も二十歳から二十一歳になる年です。乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年と言われております。現在の佐野市政運営は、産業団地開発の中止や指定管理者の破綻問題等で停滞している状況を多くの市民の方が感じていることでしょう。新年にあたり、新鮮な行政運営の始まりが進むように皆さんと「令和の改新」を進めてまいります。

必ず俺がやる



●市役所南「市民広場駐車場」の有料化と終日利用(実施に 6年かかりました)



平日夜間閉鎖している市民広場駐車場は令和7年1月6日より終日利用ができ、入庫後3時間は無料、以降1時間毎に110円(税込)、市役所利用で3時間を超える場合は認証機の処理で無料になる。よって、市役所利用者に支障を来すことなく目的外や長時間の利用を抑制し、まちなかの活性化に寄与するものです。

(市民広場駐車場活用推進事業)

●市道拡張整備と周辺開発が進んでおります



市道57号線(庁舎北側の通り)が唐沢観光通りまでの約170メートルの拡幅整備されました。近々、庁舎への一方通行が解除され対面通行となります。また、これに伴い駅南公園西側約0.7ヘクタールの土地区画整理が行われます。

(佐野駅南公園西土地区画整理事業費
市道57号線整備事業)

2024年11月23日市議会議会報告会資料より

100条委員会



1 募集要項の変更(追加)における疑義について(抜粋)

指定管理者の公募に際して令和3年7月に示された募集要項が、翌8月に前記の応募予定者の質問書によって変更となり、しかも、追加された要件が、質問書を提出した事業者、又は、共同する事業者だけが有する要件(具体的にはPFI実績又は、複数の施設を一括管理する指定管理者実績)

証人証言他

- ①当該管理施設(運動公園など3施設)には、「複数の屋内外体育施設を一括管理する指定管理者実績または、PFI構成員等の運営実績を有すること」元の募集要項には、入っていなかった。
- ②要件が追加された経緯について金子市長は、担当職員が2021年(令和3年)8月中旬、応募予定者から応募要項の内容に関する質問書が提出された旨の報告を口頭で受けたと説明。PFIに関する質問も含まれており、当時の担当副市長に「(要件の)変更が可能かどうか確認した」と明かした。その後、副市長と担当課が協議した結果から要件の追加が決まった、とした。(報道より)

2 選定過程における疑義について(抜粋)

「関心表明書と団体推薦状につきましては提出を求めてはならず、選定に活用することもない」と回答しているにも関わらず、選定委員による審査において「推薦状」に関する質疑が複数の委員から行われた上、最後に委員長からも「推薦状」に関し質疑が繰り返されたこと

証人証言他

- ①選定委員長の過去に類を見ない「推薦状」等に係る質問3回あり
- ②選定委員会議事録：副市長(選定委員会委員長)の発言を削除、委員会へ書類提出

3 市長と当該事業者との関係性に関する疑義について(抜粋)

- ①金子市長が県議時代に取り交わした*アスコンサルティングとの顧問契約書の内容について※指定管理者のグループ会社
- ②市長選挙の際の、金子市長後援会事務所と当該関連団体との関わりについて
- ③市長就任後の、金子市長と当該事業者との面談について

証人証言他

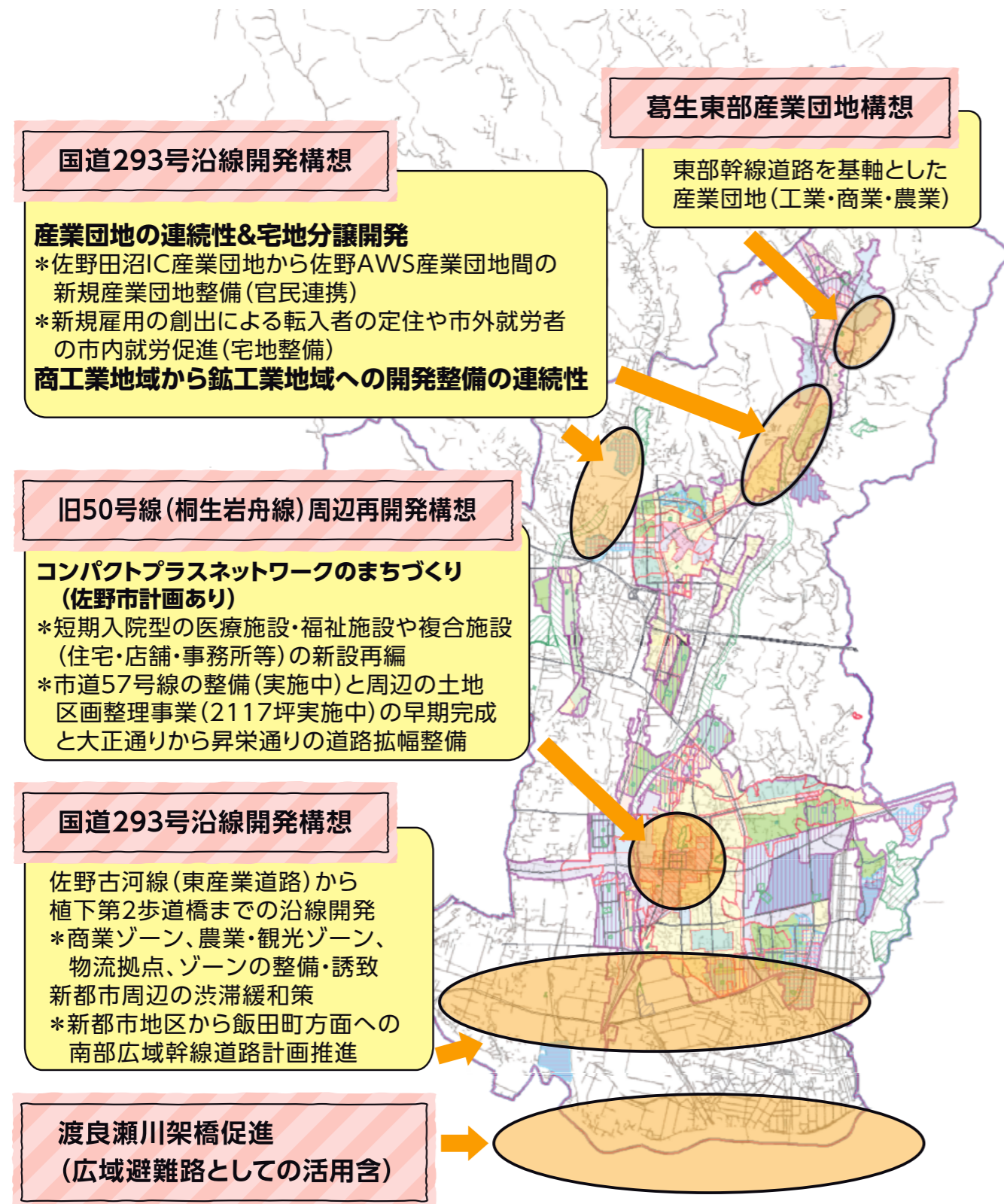
- ①顧問契約書は「業務委託契約」、日付は「えんぴつ書き」修正可能?印紙は200円(業務委託基本契約書は、第7号文書に該当する契約のため4,000円の印紙が必要)
- ②当該契約先のグループ会社からの選挙運動応援あり(期間中延べ20~30人派遣)
- ③当該事業者との面談
 - 1: 令和3年5月20日(木曜日) 次亜塩素酸水及び噴霧器の寄付(市長公室)
 - 2: 令和3年6月15日(火曜日) 市長から面談オーダーあり(市長公室)
 - 3: 令和3年8月17日(火曜日) 午前中、秘書課職員に市長が面談時間指示
 - 4: 令和3年8月18日(水曜日) 市長設定で2者面談・お茶飲み(市長室)

参考(指定管理者として選考までの経緯)

- 8月6日~8月13日まで、募集要項に対して質問受付期間
- 8月13日 当該事業者から質問書あり、担当職員と市長面談
- 8月18日 当該事業者と市長室で市長が面談
- 8月20日 「PFI実績又は、複数の施設を一括管理する指定管理者実績」の項目が追記され、募集要項変更終了10月に選定委員会で指定管理者として当該業者が決定

「産業基盤の整備」

～ 10年先を見据えた佐野市の地域づくり構想 ～



鈴木やすひろが取り組む 令和7年のテーマ

道州制も考える

〔 公共サービスの健全化 〕

行政運営の是正と強化

- ・人材の適材適所による事務の効率化
- ・行政と民間との連携による丁寧な公共サービスの提供
- ・職員の技術向上と専門化
- ・市民提案による市民活動促進の事業予算化

〔 教育 〕

0歳児からの教育環境の強化と拡大

- ・小規模保育所と幼稚園・保育園の連携強化
- ・家庭保育における補助制度の確立
- ・学校跡地を活用した特別支援学校の招致
- ・校外学習(遠足・修学旅行)の公費負担の実施
- ・出産時に「さのまる」チャイルドシートステッカー交付

〔 経済 〕

地域経済促進の新しい取組

- ・産業団地(工業・商業・農業)の専用開発
- ・さのまるコイン(地域通貨)の導入
- ・クラウド型ふるさと納税活用

〔 防災 〕

災害リスクへの対応と

カーボンニュートラルへの取組

- ・緊急情報伝達手段として市内全戸ケーブルテレビ導入
- ・河川等を利用した「小水力発電システム」導入
- ・公共インフラ(上下水道等)の耐震化

〔 長期テーマ 〕

「プロスポーツチーム」誘致